



稻見さん

オペラ 子ども参加募集

墨田で9月上演 3月から練習開始

は、幼稚園から小学5年生までの子どもたち19人が舞台に立った。

今年上演する「ラ・ボエーム」は、19世紀のパリを

地域住民が参加するオペラを公演しているグループ

「オフィス・アプローツ」
(墨田区、稻見里恵代表)

が、9月に上演するオペラ「ラ・ボエーム」に出演す

る子どもたちを募集している。3月から15回ほどの練習を重ね、歌や演技を学んで舞台に立つてもらうといい、稻見さんは「プロのスタッフと一つの作品を作り上げる貴重な機会。ぜひ参加して」と呼びかけている。

オフィス・アプローツは2014年から住民参加型のオペラを手がけており、17年に上演した「夕鶴」で

は、幼稚園から小学5年生までの子どもたち19人が舞台に立った。

今年上演する「ラ・ボエーム」は、19世紀のパリを

舞台上に、お針子の「ミミの恋」や、若い芸術家たちの自由な生活を描いた作品で、子どもたちには、クリスマス・イブの街中の場面で出演してもらう予定。お菓子を

売っている屋台に集まつたり、兵隊と一緒に行進したりするにぎやかな様子を歌と演技で表現する。

上演回場は墨田区の曳舟文化センターホールで、募集するのは、小学1年から高校生までの男女。ソプラノ歌手で、自身もミニ役で出演する稻見さんが歌の指導を担当する。3~9月に

かけて、墨田区近隣の施設で毎月2回ほど、日曜日に練習を行う。

稻見さんは「昨年出演し

た子どもたちからは、『楽しかった』『来年も出たい』という声が寄せられた。感想性を磨く絶好の機会なので、ぜひ舞台に立つてほしい」と話している。

練習と本番への参加費は計1万5000円。練習の初回は3月4日で、場所はすみだ生涯学習センター。問い合わせはオフィス・アプローツ(03・3612・1318)。